

首相、総裁選不出馬

岸田内閣 来月退陣

裏金事件「責任取る」

岸田文雄首相は、9月の自民党総裁選に立候補しない意向を固めた。複数の政権幹部が14日、明らかにした。不出馬理由として自民党派閥の政治資金パーティー裏金事件について「誰かが責任を取らないといけない」との考えを周囲に示した。裏金事件を受けた対応で党内の支持を失い、再選は困難と判断したとみられる。岸田内閣は2021年10月の発足から3年弱で幕を閉じる。自民は総裁選で後任を選出する。

首相は再選出馬を模索し、党内から交代を追い込まれる形となる。求める声が上がっていた。総裁選を巡っては、石破茂元幹事長が出馬意向を事実上表明。河野太郎デジタ



首相官邸に入る岸田首相＝14日午前

ル相も麻生太郎副総裁に立候補への意欲を伝達した。茂木敏充幹事長、小泉進次郎元環境相、小林鷹之前経済安全保障担当相、高市早苗経済安保担当相を推す動きも出ている。首相後継を巡る党内の動きが活発化しそうだ。

岸田政権では、21年10月の衆院選で追加公認を含めて自民が絶対安定多数を確保。22年7月の参院選も大勝した。22年12月には反撃能力(敵基地攻撃能力)保有を明記した国家安全保障戦略を策定。23年5月には広島で先進7カ国(G7)首脳会議を開催した。首相の在職日数は4月に故橋本龍太郎元首相を超え、戦後の首相で8位となっていた。